

「SARS-CoV-2 の世界的流行が日本における他の伝染病の流行に及ぼす影響」 へ ご協力をお願い

【目的】

SARS-CoV-2 の世界的流行後、インフルエンザウイルスや結核といった感染症の減少が各国から報告されている。SARS-CoV-2 流行前と後での、日本における他の感染症の増減を国立感染症研究所の感染症発生動向調査のデータをもとに比較し、SARS-CoV-2 流行との関連性を検討する。

【対象】

2015年1月から2021年12月までの全数把握疾患と定点把握疾患の計105疾患を、SARS-CoV-2 流行前後(2015-2019年, 2020-2021年)で比較する。

【研究内容】

国立感染症研究所の感染症発生動向調査データから、2015年1月から2021年12月までの全数把握疾患(87疾患)、定点把握疾患(18疾患)計105疾患が対象。上記より、1年間に平均100以上の報告がある疾患を選び、いくつかのウイルス・細菌が想定される疾患は除外する。選択した疾患で、SARS-CoV-2 流行前の2015-2019年と流行後の2020-2021年の報告数を後方視的に比較する。対象者の人権に関しては、国立感染症研究所の匿名化された感染症発生動向調査のデータを用いるため、対象者個人の人権への影響はないと考える。

【個人情報の管理について】

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。

また、本研究の実施過程、および結果の公表(学会発表、論文発表)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

尚、本研究に情報を利用することをご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記連絡先までお申し出ください。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日より2022年12月31日迄

【医学上の貢献】

SARS-CoV-2 流行前後での他伝染病の流行状況を比較することで、個々の伝染病に対するSARS-CoV-2 への感染予防効果の有効性を評価でき、今後の一次予防対策につながると思われる。

【研究責任者】

国立病院機構 別府医療センター 小児科

氏名 平江 健二

連絡先：〒874-0011 別府市大字内かまど1473番地

電話：0977-67-1111 FAX：0977-67-5766